

| | | | | | | | |
|--------------------|--|------------|--------|---------------------------------|----|----|----|
| 研修名 | 専門課程 道路構造物(係長級)[保全コース][集合] (平成 23 年度～) | | | | | 事務 | 技術 |
| | (昭和 36～平成 18 年度：「道路構造物設計」、平成 19～20 年度：「道路構造物」、平成 21～22 年度：「道路構造物設計施工技術」) | | | | | | ○ |
| 目的・重点事項 | <p>係長級職員が修得しておくべき道路構造物に関する知見（設計・施工・保全）のうち、特に道路構造物の保全に係る点検・検査・診断・補修補強に関する専門知識及び技術の修得を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 道路構造物の点検・検査・診断・補修補強に至る専門知識及び技術の修得</p> <p>② 道路橋の点検に関する実務的スキルの向上</p> <p>係長級職員の道路構造物に関わる研修は〔設計・施工コース〕と〔保全コース〕に分離して実施している。本研修受講者は、可能であれば（別年度になったとしても）〔設計・施工コース〕も受講することが望ましい。</p> | | | | | | |
| 対象者 | <p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 地方整備局本局・事務所・出張所の係長又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度以上の能力を有すると認められる者</p> | | | | | | |
| 定員(人) ※目安 | 国土交通省 | 内閣府沖縄総合事務局 | 地方公共団体 | 独立行政法人等 | 団体 | 計 | |
| | 18 | 1 | 20 | 1 | | 40 | |
| 研修期間 | 67.0時間 12日間 | | | 令和6年 7月 1日(月)～ 令和6年 7月12日(金) | | | |
| カリキュラム内容 (予定時間) | <p>1. 講義(41.0)</p> <p>① 道路を取り巻く最近の話題、疲労について 等</p> <p>② 道路構造物概論、鋼部材の損傷と調査・診断及び補修・補強、コンクリート部材の損傷と調査・診断、道路橋の耐震性と耐震補強 等</p> <p>③ トンネル、土工、舗装の維持管理とマネジメント 等</p> <p>2. 現地実習(8.0)</p> <p>《参考》令和5年度の点検実習箇所 鋼橋：国道16号竜谷寺高架橋、コンクリート橋：国道16号八高線跨線橋</p> <p>3. 課題研究(16.0)</p> <p>《参考》令和5年度のテーマ 受注者から提出された現地での診断結果を基に、道路管理者としての診断を実施し、次回点検までの措置方針を検討することについてロールプレイングを実施する。</p> <p>4. その他(2.0)</p> <p>入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 67.0</p> | | | | | | |
| 前年度からの 主な変更点 | | | | | | | |
| 担当 国交大・本省 | <p>国交大：建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645)</p> <p>本省：道路局 国道・技術課</p> | | | | | | |
| 備考 | テキスト代(予定)80,000円 | | | | | | |